

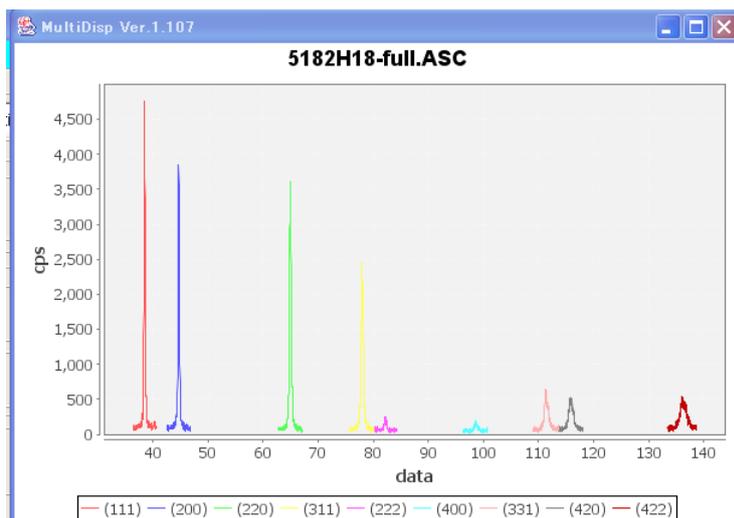
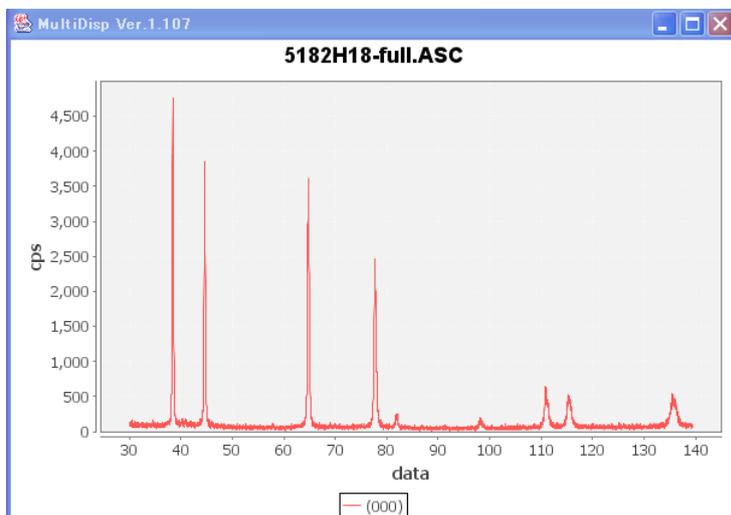
逆極点解析支援ソフトウェア

Profile to Division Profile ソフトウェア

Ver.1.07 M

連続測定データから指数付き分割データ構造を作成

分割データ構造データの指数自動変換を実現



2020年09月16日



HelperTex Office

1. 概要

2. ソフトウェアの使い方

2. 1 対象物質の選択（一度選択すると次回のデフォルト）
2. 2 対象となるファイル（複数可能）の選択
 2. 2. 1 ファイルの複数選択
 2. 2. 2 ディレクトリー括選択
2. 3 分割ファイルの修正（指数変更）
2. 4 逆極点ソフトウェアで確認

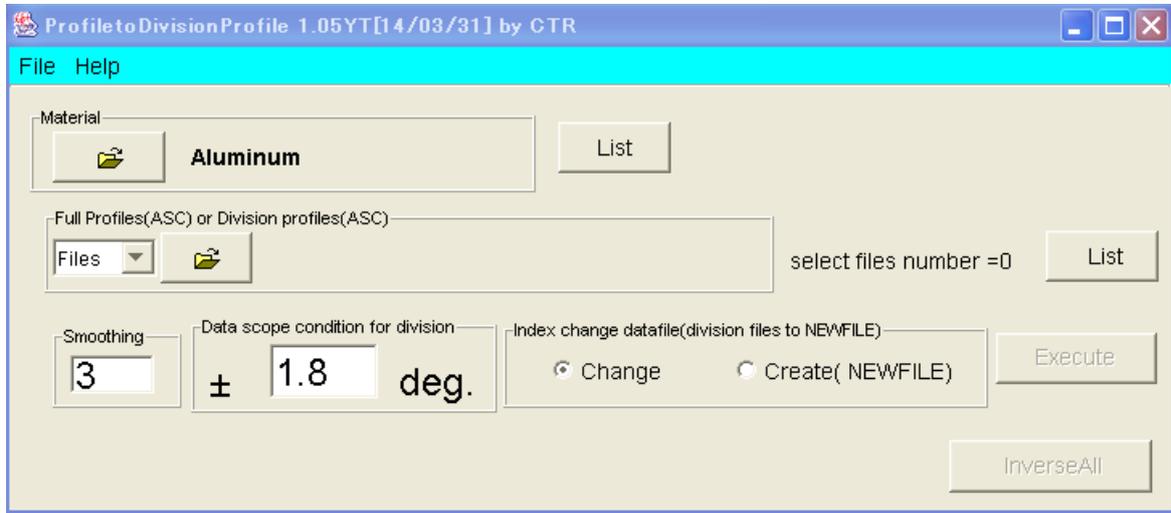
1. 概要

逆極点解析では、無配向材料との強度比を計算し、ステレオ三角形に表示し、試料面法線方向の方位分布を表示する。このソフトウェアの前提は、各反射毎にプロファイル測定を行い、そのプロファイルに指数が登録されている事である。

連続測定データや、各反射の指数指定が間違えていると解析不能となる。

本ソフトウェアでは、連続測定データから分割構造ファイルの作成や、各反射の自動指数評価を行い修正処理が行える。連続データの場合、複合体への応用には問題が出る可能性があります。

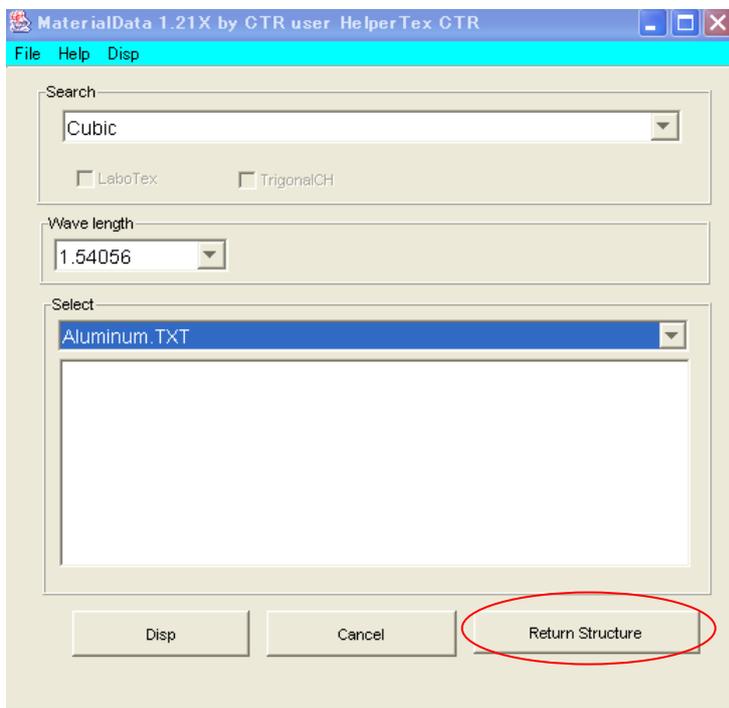
2. ソフトウェアの使い方



2. 1 対象物質の選択（一度選択すると次回のデホルト）



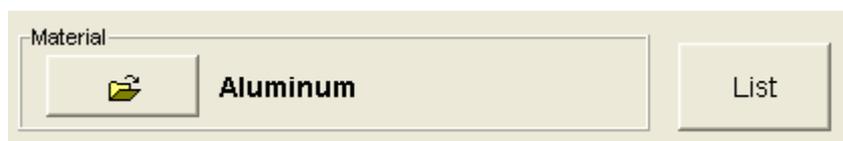
で対象となる物質を選択(MaterialData ソフトウェア)



物質を選択し



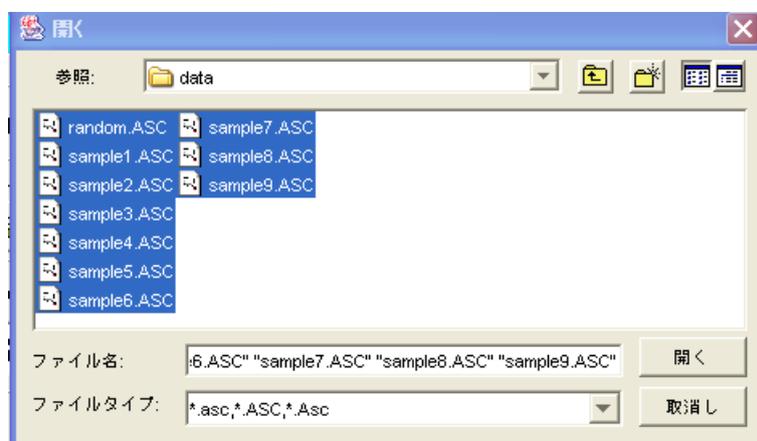
選択された物質が表示される。



2. 2対象となるファイル（複数可能）の選択

sample9.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16
sample8.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16
sample7.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16
sample6.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16
sample5.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16
sample4.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16
sample3.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16
sample2.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16
sample1.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16
random.ASC	24 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 9:16

2. 2. 1 ファイルの複数選択



2. 2. 2 ディレクトリー一括選択



ファイルを選択

Full Profiles(ASC) or Division profiles(ASC)

Files C:\tmp\data Select files number =10

で選択されているファイルの確認

TextDisplay 1.10S

File Help

C:\tmp\data\random.ASC
 C:\tmp\data\sample1.ASC
 C:\tmp\data\sample2.ASC
 C:\tmp\data\sample3.ASC
 C:\tmp\data\sample4.ASC
 C:\tmp\data\sample5.ASC
 C:\tmp\data\sample6.ASC
 C:\tmp\data\sample7.ASC
 C:\tmp\data\sample8.ASC
 C:\tmp\data\sample9.ASC

2. 3分割ファイルの修正 (指数変更)

Index change datafile(division files to NEWFILE)

Change Create(NEWFILE)

Change

は、修正、上書き (連続データかた分割データ作成の場合はC r e a t eされる)

Create(NEWFILE)

は、

修正したファイルをNEWFILEディレクトリ以下にC r e a t e
 若し、修正がなければ、C r e a t eされない。

連続データの場合、

Smoothing Data scope condition for division \pm deg.

で、プロファイルの平均化と切り出す範囲を指定

Data scope condition for deviation \pm deg. Index change datafile(division files to NEWFILE) Change Create(NEWFILE)

切り出す幅は、管球によって変更して下さい。例えばMo管球の場合1.0deg

NEWFILEが作成される (入力データが連続データの場合)

切り出されるデータは、最大強度位置から低角、広角に指定された幅に作成される。

r a n d o mとs a m p l eで切り出し範囲は異なるが、幅は同一に作成されます。

C:\tmp\data\NEWFILE

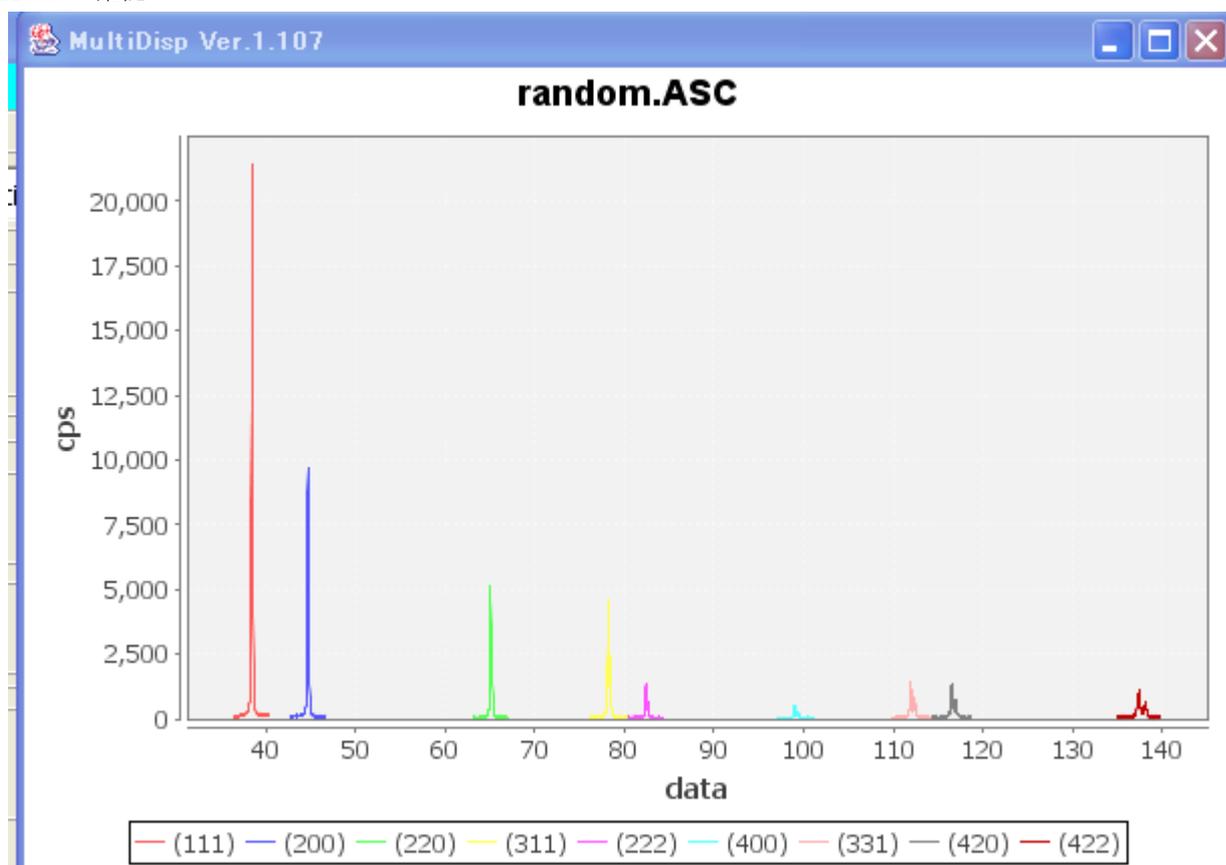
名前 ▲	サイズ	種類	更新日時
random.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26
sample1.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26
sample2.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26
sample3.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26
sample4.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26
sample5.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26
sample6.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26
sample7.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26
sample8.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26
sample9.ASC	18 KB	RINT2000アスキー	2012/08/02 14:26

とフォルダのタスク

ILE
フォルダ
時: 2012年8月2日、14:26

変換後のファイルが作成される。

random.ASC の確認



各分割データの Index に指数が追加されている。

入力データが分割データの場合、指定した物質で指数チェックを行い、変更を行う
作成されたデータも NEWFILE 以下に登録される。

2. 4 逆極点ソフトウェアで確認

